

注文票

FAX 048-432-7335		
氏名:	住所:	電話:
〒		
四六版 216頁		
注文数		
定価: 本体 1600円+税		
2004年7月7日発売		
<p>日本僑報社の既刊書</p> <ul style="list-style-type: none"> 『中国人特派員が書いた日本』 『永遠の隣人--人民日報に見る日本人』 『日中相互理解とメディアの役割』 『日中ホンネで大討論!』 『中国人の見た日本』 『中国人の日本語者書総覧』 『日本華僑社会の変遷』 『華僑社会の変貌とその将来』 『中国人の日本奮闘記』 『中国の1万2967人に聞きました。』 『私が出会った日本兵』 『つくる会の歴史教科書を斬る』 『新中国に貢献した日本人たち』 <p>ほか多数</p>		

好色と中国文化

—中国の歴史は夜に作られた—

金文学 著 日本僑報社 発行 | ISBN 4-931490-86-7

目次

第1章 好色の伝統

好色は人間の本性/性器崇拜は祖先崇拜/纏足という名のエロチシズム/夜を制覇する者が昼を制覇する/男が茶壺なら、女は茶碗/開かれた寝室/好色文化の華は妓女/男色と男娼/好色と戒色はコインの裏表/悲しき烈女碑/男は才能、女は美貌/人肉が精力剤

第2章 英雄・豪傑、好色の饗宴

皇帝の初夜の証は血に染まった白い絹/酒池肉林の恍惚郷/男殺しの美人夏姬/美人コンテストの始祖、隋の煬帝/天下無双の好色魔、海陵王/三千人の男妾を囲った則天武后/絶世の美女趙氏姉妹/美人救国論 vs 美人亡国論/毛沢東と女たち

第3章 中国のエロス文学と性表現

天子の鬚をも解くエロス文学/現代人もびっくり仰天! 中国のポルノグラフィ/妻は妾に及ばず、妾は妓生に及ばず/中国人の女体美はアンバランス/雲雨の情/セックスを漢字で表現する/春画とエロス/おならとセックス

第4章 中国の歴史は夜に作られた

性交による疾病治療/房中術という名の秘術/セックスはバトルだ?/官職が上がると逸物も大きくなるのか/見ていいものとやっていいもの

第5章 エロスの近代

中国版「キンゼー・レポート」/一九二〇年代にくりひろげられたヌード・デモンストレーション/近代中国における名士たちの恋愛革命/新中国の歪曲された性文明/強姦魔たち/文盲と性盲/醜悪な性風俗

第6章 中国性文化革命

国門開放と性門開放/一九八八年の裸体画騒動/中国最初のセックス・ショップ/不倫という名のロマンス/たかだか貞操なんて! /中学生の恋愛ブーム/性教育は低俗だ? /現代版『金瓶梅』と好色文化/中国五千年史上最初のヌードモデル/公衆便所と同性愛/中国男子は死んだ? /公的に認められているセックス産業



著者紹介 作家、文化人類学者。1962年中国生まれ。同志社大学大学院修士、広島大学大学院博士課程修了。現在、呉大学社会情報学部、福山大学人間文化学部などで教鞭を執っている。日・中・韓3カ国語による執筆活動と講演活動を展開。著書に「中国人民に告ぐ!」「反日」という甘えを断て」など三十余冊ある。在日外国人知性の旗手として、屈指の知日派文化人として高い評価を得ている。



【内容紹介】
「日本で研究生活をして日本人の絢爛たる性文化を眺めながら、中国人の性文化をあらためて振り返ってみた。そうして中国人の性をテーマにした本を書いてみようという思いがふつふつと沸き上がってきた。
中国という巨大な国と、その中で暮らしている人々を徹底的に理解しようとすれば、うわべに表れた政治、社会、文学、芸術など「表」の文化だけを見ていてはあまりにも物足りない。その底辺に蠢く男女関係からなる性、すなわち「裏」の文化までも見つけることで、初めて真の中国文化を立体的に理解することができるだろう。
性是非常に個人的で秘密めいたことだが、同時にその個人が一人二人と集まって性文化が形成される。ゆえに性は当然個人的でありながらも、社会的・民族的特性を備えているといえる。
果たして中国人にとって性とは何だろうか? 『金瓶梅』を生んだ性の大国中国の性文化をわたしなりに掘り下げてみたのがこの本だ。」

本書「はじめに」より